

かまばし

発行 地域力推進蒲田西地区委員会
編集 地域情報紙編集委員会

第62号



わがまちの顔

近藤
和幸
さん

お風呂屋さんの全国浴場組合連合会理事長である近藤さんが、西蒲田六丁目（蓮沼交番池上寄り）で「はすぬま温泉」を経営されています。これまでにＮＨＫや民放に出演されたり紹介されています。大田区区民観光特使を委嘱され、また友好都市である秋田県美郷町のふるさと大使を委嘱されていて、ロビーには美郷町のプチ物産コーナーがあります。

近藤さんは都市計画関係の元公務員だつたそうですが、この銭湯もご自分で建てられ、かなりの費用がかかつた（＊億円？）とお聞きしました。

ロッカーも背広がかけられるようにならんの（手作り）がありで工夫されています。

入り口に、板で「わ」であつたりが掛かっています。板に「わ」と書いてあるのは「わいた」で営業中、「ぬ」は湯を「ぬいた」ので営業していません。遊び心が一杯の表示です。

今後、東京オリンピックに向かう外国人観光客が増えてきますが、「言葉が通じない」「外国人はマナーや知らない」等々、多くの壁が予想されます。そのためには「銭湯指さし案内マニュアル」や「ウエルカムSENTO」の標示を行つ

毎週火曜日が定休日。午後三時から深夜一時までの営業で、湯上りに無料の「アルカリイオン水使用ハーブティ」がサービスされています。毎月の第一日曜日と五月五日の子供の日は、小学生以下は無料で入浴できます。最近、入口のシャッターに絵が描かれましたが、開店前や閉店後と休業日でないと見る事ができません。

災害時には四〇名分の備蓄があるそうで、「災害時には避難しに来て下さい。みんなで助け合いましょう」とロビーに張紙があります。

て、全国的にその課題を解決しようと試みられています。湯沸しは、ガス（大口契約）による自家発電でまかなつているそうです。したがつて煙突はありませんが、あまり必要性が無く廣告塔代わりとのことです。

泉質はナトリウム塩化物・炭酸水素塩冷鉱泉で淡濃褐色、使用の温泉は源泉一〇〇%……つるつるすべすべの「美肌の湯」としてお客様に大好評です。サウナ・電気風呂・ジエットバスがあり、源泉かけ流し水風呂もあります。風呂場の壁面に描かれているのは山奥の滝のタイル絵、リンスインシャンプーとボディーソープは備え付



106

た。片柳学園の歩みにふれ、戦後、まもない一九四七年に始まり今日の発展があること、蒲田の発展とともに歩んで来られたことも分かりました。

蒲田西特別出張所管内		
人口	男	32,155人
	女	29,656人
	計	61,811人
	世帯	34,758世帯
平成28年11月1日現在		
'かまにし17'をお読みいただき、ありがとうございます。情報紙に対するご意見やご感想、または投稿などございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。		

人口	男	32, 155人
	女	29, 656人
	計	61, 811人
世帯	34, 758	世帯

オペラ・ナポリ民謡・「荒城の月」・「千の風になつて」等々盛り沢山なプログラム。生で聞く演奏と歌は迫力があり、あつという間の二時間。素晴らしい建物と、素敵なかんさつ。贅沢な時を過ごさせていただきました。

以下に、この公演に参加された
当地域情報紙編集委員の感想を記
載いたします。

ト合唱団、ゲスト秋川雅史によ
るとてもすてきなスペシャルコン
サートが行われました。

(取材 瀬川・下山委員)

(取材
飯嶋委員)

片柳アリーナ
完成記念公演開催

学校法人片柳学園（東京工科大
日本二年生　専門二年生）

(取材 濱川・下山委員)

(高橋委員)

錢湯絵師

——田中さんと「ゴジラ湯」

1・錢湯の背景画 富士山

皆さん、郷愁を誘う「錢湯」という言葉に何を連想しますか？たぶん背景画でしょう。それもペンキ絵の富士山！

この背景画が初めて登場したのは一九一九年（大正元年）、千代田区の錢湯「キカイ湯」でした。絵師が生まれ故郷の富士山を描いたのがきっかけで以降の主流になったといわれます。その錢湯跡には「背景画富士山発祥の地」のプレートが残されているそうです。



——田中みづきさん——

1983年（昭58年）生まれ。明治学院大学で美術史を専攻。美術館の学芸員を目指していたが、大学の卒論テーマ探しの中で錢湯のペンキ絵に出会い、絵師の中島盛夫氏について見習いを始める。卒論は「錢湯ペンキ絵再考」。

2008年、同大学大学院博士課程前期を修了。見習いから通算9年の修行を経て2013年に独立した。

出版社勤務や、ウェブマガジン

「カロンズネット」編集長を務めた後、現在は日本で唯一の女性錢湯絵師として活躍している。

内風呂の一般化と共に錢湯の数は減少を続け、平成元年に一四四軒あつた大田区の錢湯は現在四三軒、ペンキ絵ができる錢湯も六、七軒になりました。一方で、自宅のお風呂で錢湯気分をと、錢湯絵師のお風呂ポスターが人気を呼んでいるという話も聞かれる昨今です。

2・女性錢湯絵師田中さん

田中みづきさんは、錢湯のペンキ絵との出会いを次のように語っています。

「それまで錢湯に行つたことのない私が、（卒論のために）実際に行つてみて、いちばん印象的だったのがペンキ絵でした。大きな湯船の中で体がゆらゆら揺れ、白い湯気がペンキ絵の雲に重なつて、く様を眺めるうち、自分が絵に描かれた世界に入つていくように感じたのです。そして自分も、お湯に入った人の心を癒すようなこんな絵を書いてみたいと思って。」

その田中さん、今や三人しかいないといわれる錢湯ペンキ絵師の一人として活躍中です。

錢湯絵師の仕事は、大きな浴室の壁がカンバスです。例えば後述の「第二日の出湯」の場合、高さが三メートル、横幅が一二メートルもありました。

錢湯のペンキ絵は湯気や湿気で傷み、一年か二年で描き換えるものだそうです。

元の絵の上に新しい元の絵のアウトラインを描き、そこからローラーや刷毛を使って一気に描いていく。ペンキの用意は原則として三原色（青・赤・黄）プラス白の四色。これを混ぜ合わせ必要な色を作り、ペンキが乾き切ら

たったから。このコラボのねらいは、大田区自慢の黒湯に浸かりながら、羽田空港や多摩川、池上本門寺、東急プラザの屋上観覧車、商店街などの風景と、迫力満点のゴジラが楽しめるという趣向でした。それでもし自分がゴジラだつたら、それら風景がどうに浮かびあがる怖いゴジラを思い、ふだんは使わない黒色ペンキで不気味さを表現しました。そしてもし自分がゴジラだったら、それら風景がどう見えるかを想像して構図を考えました。」と話しています。



ゴジラを描いた背景画（第二日の出湯）

リル絵具でラフを描き、了解を得てから本番に臨むようにしているそうです。また最近は、老人ホームの浴室や店舗など、制作の場が大きく広がっています。

3・映画『シン・ゴジラ』

東宝の制作・配給、ゴジラシリーズの第二九作目。七月二九日に公開、九月六日現在の観客動員数は四二〇万。単なる空想特撮エンタテイメントにとどまらず、有事の対応という社会的側面のあるところが受けているのでしょうか。

蒲田でも「アトル蒲田」でロングラン。ご覧になつた方も多く思います。私もその一人。

——上映早々に羽田沖で大量の水蒸気が噴出、同時にアクアライ

ンでもトンネル崩壊事故が発生する。まもなく巨大生物の尻尾部分がT V報道された。破壊を繰り返しながら、巨大生物は多摩川河口から呑川を遡上し蒲田上陸、四つ北上を始める……息詰まるシーンの連續に醉いました。

ちなみに、この巨大生物（ゴジラ）の体長は一一八メートルと伝えてあります。

前年九月、大田区の蒲田・梅屋敷・多摩川浅間神社等での撮影



ゴジラ制作中の田中さん

4・錢湯にゴジラが出現！

右は『おおた区報』九月一日号という投稿川柳を新聞で見ました

が、この映画の英語名「GODZILLA resurgence」から推定ください。

シンの意味解らぬままにゴジラ観る

トライアングル。ご覧になつた方も多く思います。私もその一人。

——上映早々に羽田沖で大量の水蒸気が噴出、同時にアクアライ

ンでもトンネル崩壊事故が発生する。まもなく巨大生物の尻尾部分

がT V報道された。破壊を繰り返しながら、巨大生物は多摩川河口

から呑川を遡上し蒲田上陸、四つ北上を始める……息詰まるシーンの連續に醉いました。

ちなみに、この巨大生物（ゴジラ）の体長は一一八メートルと伝えてあります。

前年九月、大田区の蒲田・梅屋敷・多摩川浅間神社等での撮影



「ゴジラ湯」のれん（第二日の出湯）

の見出しだですが、大田区がロケ地になつた『シン・ゴジラ』の公開を記念して、「大田黒湯温泉 第二日の出湯」（西蒲田六・五・一七、田村純一代表）に「ゴジラ湯」が登場したのです。描いたのは田中みづきさん。

こうして、錢湯とゴジラのコラボレーションが実現しました。第二日の出湯になつた理由は、「アウディー」の広告として錢湯絵を描くなどフレキシブルな平素からの実績。絵師は、新しい図柄に最も対応できるのが新進気鋭の田中さん

の見出しだですが、大田区がロケ地になつた『シン・ゴジラ』の公開を記念して、「大田黒湯温泉 第二日の出湯」（西蒲田六・五・一七、田村純一代表）に「ゴジラ湯」が登場したのです。描いたのは田中みづきさん。

こうして、錢湯とゴジラのコラボレーションが実現しました。第二日の出湯になつた理由は、「アウディー」の広告として錢湯絵を描くなどフレキシブルな平素からの実績。絵師は、新しい図柄に最も対応できるのが新進気鋭の田中さん

の見出しだですが、大田区がロケ地になつた『シン・ゴジラ』の公開を記念して、「大田黒湯温泉 第二日の出湯」（西蒲田六・五・一七、田村純一代表）に「ゴジラ湯」が登場したのです。描いたのは田中みづきさん。

ないうちに仕上げる。ペンキが垂れてもいいように、絵は上から下へと手早く描くのが基本だと聞きました。

ペンキ絵は絵師に全てお任せと

いうのが一般的ですが、田中さんは、事前にA3サイズの紙にアク

に反響を伺うと、ゴジラ目当ての来客が、例えば茨城や関西など遠隔地からも増えていて、中には、映画『シン・ゴジラ』を九回も見たという山梨の若者もいたそうですね。

なお、この絵は一一月八日まで

ということでおとと元の定番、田中みづきさんの富士山に描き直されました。